

第29回北海道生活科・総合的な学習教育研究大会旭川大会 課題別分科会 フレゼン資料

【提言テーマ】

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、 次の活動へつなげる学習活動を 重視した授業づくり



名寄市立名寄小学校 林 琢磨

提言テーマ

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、 次の活動へつなげる学習活動を 重視した授業づくり

1. 資質・能力を高める
学びのプロセスの明確化

2. 教師の適切な指導

1年生活科 「ふゆとともにだちになろう」

1. 資質・能力を高める

学びのプロセスの明確化

学習材

学習活動

単元計画

①児童の実態から中心となる活動を決定する。

②育ちの到達点と通過点を明確にする。

③学びのプロセスを構想する。

①児童の実態から中心となる活動を決定する

児童の実態

聞き取り

観察

- ・比較的、屋内で過ごすことが多い。
- ・自分たちで遊びを工夫したり、遊びの約束やルールを決めたりする経験が少ない。

米ぞい遊び

②育ちの到達点と通過点を明確にする

気付きの質の高まり

生活科の学習過程のイメージ(案)

別添 7 - 3

生活科の「見方・考え方」(身近な生活に関する見方・考え方)

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、
比較、分類、関連づけ、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること

思いや願いをもつ

表現する・行為する

活動や体験をする

感じる・考える

- 対象に関心を持つ
- 身体全体で対象と関わる
- 自ら対象に働きかける

- 比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える
- 違いに気付いたり、よさを生かしたりして他者と関わり合う
- 試したり、見立てたり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す

- 伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する
- 生活に生かしたり、生活を豊かにしたりする

探究心 他者尊重 地域への愛着 適切な関わり 公共 安全 (主に人や社会との関わり)

好奇心 自然との触れ合い 感性 生命尊重 創造 (主に自然との関わり)

意欲 自信 成長 自分らしさ 感謝 (主に自分自身)

人、社会、自然に対する個別的な気付き
(例: 学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わること など)

人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例: 空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があること など)

自分自身への気付き
(例: 自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例: 生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話がができる など)

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

知識・技能

人、社会、
自然に対
する個別
的な気付
き

人、社会、
自然に対
する関係
的な気付
き

自分自
身への気
付き

人、社会、自然に対する個別的な気付き
(例: 学校生活を支えている人々がいること、季節によつて生活の様子が変わること など)

人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例: 空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があること など)

自分自身への気付き
(例: 自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例: 生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話がができる など)

個性等

知識・技能

「段ボール、ひも、布テープ等を使うとそい作りができるんだね」

人、社会、自然に対する個別な気づき

■上

■違いに気付いたり、よさを生かしたりして他者と関わ

■試

に生かしたり、生活を

地域へ

自然との触れ合い 感性 生命尊重 創造

自信

「米ぞい遊びは楽しいな」

人、社会、自然に対する個別な気づき

(例: 学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わること など)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(

「ひもを引
きずると
滑らない」

人、社会、
自然に対
する関係
的な気付
き

材料と作
り方を工
夫すれば
自分の思
いに合った
米ぞいがで
きる」

自分

友達

共通点



人、社会・自然に対する関係的な気付き
(例:空間の中でつながり関わっていること、きまり
や一定の変化があること など)



断力・表現力等
学
性
能

習慣や技能(例:生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物

生活科の「見方・考え

身近な

到達点

「遊びをつくるのが好きになった」



...たり、予測したり、見...
...たりして創り出す

...の愛着 適切な関わり 公共

感性 生命尊重 創造

「みんなで協力し楽しく遊ぶことができた」

自分自身への気付き

自分自身への気付き

(例: 自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など)

(例: 作る・動植物の世話がができる など)

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

知識・技能

③学びのプロセスを構想する

次	気づきの質	学習活動
第1次	個別的な 気づき	①活動・体験 ②伝え合う・振り返る活動 ③思いや願いをもつ
第2次	関係的な 気づき	①活動・体験 ②伝え合う・振り返る活動 ③思いや願いをもつ
第3次	自分自身への 気づき	①活動・体験 ②伝え合う・振り返る活動 ③思いや願いをもつ

1. 資質・能力を高める

学びのプロセスの明確化

個別적인な気付き 關係的な気付き 自分自身への気付き

学習材

学習活動

単元計画

① 児童の実態から中心となる活動を決定する。

② 育ちの到達点と通過点を明確にする。

③ 学びのプロセスを構想する。

2. 教師の適切な指導

① 試行錯誤する活動を設定する。



② 伝え合い交流する場を設定する。



① 試行錯誤する活動を設定する。



「2人乗りの米ぞいで競争するゲームを友達に楽しんでもらいたいな」

「.....」

「どんなルールにするといいかな？」



① 試行錯誤する活動を設定する。

「2人乗りがしやすくなるようにシートベルトをつけるといいよ」



「ゴールが分かりやすいように、黄色いひもを目印にするといいよ」

① 試行錯誤する活動を設定する。

活動や体験

提言テーマ

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、
次の活動へつなげる学習活動を
重視した授業づくり

思考・認識



②伝え合い交流する場を設定する。

米ぞり遊び

気づきを伝え合い
交流する場

順番で発言

経験の蓄積

習慣化
意欲向上

②伝え合い交流する場を設定する。

児童の発言

はっけん

よそう

くらべる

たとえる

アイデア

ぎもん

せいちょう

気づきを表現

② 伝え合い交流する場を設定する。

「米ぞいの裏にクラフトテープをつけると、つるつるしているから滑りやすいのではないかな」

「クラフトテープがあるから滑りが悪い」

くらべる

せいちょう

「わたしは、4にんですべれてよかったな。またすべいたいなどおもいました。チャレンジしていくとできるようになり、もっとやりたいなどおもいました」

2. 教師の適切な指導

① 試行錯誤する活動を設定する。

提言テーマ

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、
次の活動へつなげる学習活動を
重視した授業づくり

② 伝え合い交流する場を設定する。

生活科の授業づくり

低学年らしい思考や認識を確かに育成し、 次の活動へつなげる学習活動を 重視した授業づくり

学習材

学習活動

1. 資質・能力を高める

学びのプロセスの明確化

個別的な気づき | 関係的な気づき | 自分自身への気づき

通過点

到達点

試行錯誤

伝え合い交流する場

2. 教師の適切な指導

輪番発言

考える技法をラベリング